

## 第4学年 学級活動（2）指導案（食に関する指導）

指導者 京都市立柏野小学校  
教諭 細川 洋太（T1）  
栄養教諭 山口 紗世（T2）

1 日 時 令和5年 12月 7日（木） 第5校時（13:20～14:05）

2 学年・組 第4学年 い組（24名）

3 題 材 おせち料理を食べる理由をさぐり、「うちのおせち」を考えよう  
（エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成）

### 4 題材について

#### （1）児童の実態

本学級の児童は、単級であり、クラス全体で協力しながら物事に一所懸命に取り組むことができる。毎日の給食やランチルームでの食の学習、給食時間を楽しみにしており、食べることにも意欲的な児童がいる学級である。

しかしながら、日常の給食の様子を見ていると、食べ物自体に興味はあるが、伝統的な食材を知らない児童が多く、季節の行事や行事食は知っているが、その意味を理解していないことが今回の事前アンケートでも明らかになった。日々の給食指導では、給食黑板や掲示、給食だより、給食時間の「いただきます」等で、日本の大切な食文化について機会あるごとに説明を入れ、学習できるようにしている。

そこで本時では、日本の行事食で代表的な正月料理「おせち料理」を題材とし、込められた先人の思いや、願いについて考えていく。さらにその思いを膨らませることで、家庭への思いを馳せ、児童自身がきっかけとなり家庭で実践して食べたいという意欲を育てたい。

#### （2）題材設定の理由

近年、日本の伝統食（食材や行事食など）は家庭の食卓に上らないことも多く、知らない児童が増えてきている。本時や事後の活動を通して、児童が行事食に興味を持ち、込められた思いや願いを理解し、次世代へと継承していきたいと考えられる児童の育成を目指し、本題材を設定した。また、国語科の「世界にほこる和紙」の学習で、日本の伝統工芸や、食文化を取り上げたことも本時と繋げながら、今回の学習を通して学んだことを第5・6学年の和食についての学習や家庭科の学習に繋がっていくようにしていく。

今回の事前アンケートでは、正月におせち料理を食べている児童は91%であるが、なぜ食べるのかその意味は知らないという児童が72%という結果であった。おせち料理は知っており、実際に家庭や給食で口にしているものの、受け継がれてきた食文化についての理解は浅いことから、日本の伝統食であるおせち料理の意味や込められた思いを学び、実際に中身を考えてみるこ

とで、興味関心を高めていく。

「つかむ」では、事前アンケートをもとに、おせち料理は食べているものの、意味を知らずに食べている現状に気付けるようにする。「さぐる」では、さらにおせち料理を食べる意味、こめられた願いについて児童が予想し、考えを深められるようにする。「見つける」では、児童が自分の家庭に思いを馳せ、込めたい願いを詰めた「うちのおせち」をロイロノートで作成する。「決める」では、本時から学んだこと・考えたことを踏まえて、正月までに、また、給食におせち料理が登場した際に自分にできることをペアワークを通して意見を出し合う。さらに出た意見をもとに、自分自身に合った「私のおせち大作戦」を具体的に考え、実践につながるようにする。

本時で「うちのおせち」を作る活動を行い、事後には学校や児童から家庭に働きかける活動を設定することで、家庭との連携を図り、日本のよき伝統文化である行事食に興味をもち、尊重する心や継承する態度を育てたい。

## 5 第4学年の評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	おせち料理を食べる理由やそれぞれの料理に込められた願いが分かり、日本で昔から食べられ、受け継がれてきた大切な食文化、行事食であることが理解できる。	おせち料理にはそれぞれ願いが込められていることが分かり、家庭や自分自身のことを振り返りながら、「うちのおせち」を考え、意思決定をして実践している。	受け継がれてきたおせち料理等に興味・関心を持ち、これからも伝えていくために、できることを考え、実践しようとしている。

- 6 食育の視点 日本伝統や食文化を受け継いでいくためには、自分自身に何が出来るかを考えられる。＜食文化＞

## 7 事前の活動

児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
お正月アンケートに回答する。	・ICTを活用し、アンケートに答えられるようにする。	・正月料理に興味をもちアンケートに答えている。

## 8 本時のねらい

おせち料理に込められた願いについて考えを深め、おせち料理を食べていくために自分にできることを考え、実践できるようにする。

9 本時の展開

	児童の活動	指導上の支援（●） 留意点（○）	資料 準備物	◎目指す児童の姿 （観点）【評価方法】
導入	<p><b>つかむ</b></p> <p>1 アンケート結果から、自分たちの様子を振り返り、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の正月にもおせち料理を家族で食べたね。</li> <li>・食べている人がほとんどだけれど、意味を知らない人が多いな。</li> <li>・なぜおせち料理を食べるのか知りたいな。</li> </ul>	<p>●アンケート結果を示すことで、正月に家庭で食べるものを振り返り、自分事としてとらえられるようにする。（T1）</p> <p>○児童が食べたことがあるおせち料理をお重に詰めて紹介し、歴史やいわれを伝える。（T2）</p> <p>●正月におせち料理を食べるだけではなく、込められた願いを考えられているかを問いかけ、児童が疑問を持てるようにする。（T1・T2）</p>	<p>アンケート結果の集計</p> <p>お重</p>	
	<b>おせち料理を食べる理由をさぐり、「うちのおせち」を考えよう</b>			
展開	<p><b>さぐる</b></p> <p>2 正月におせち料理を食べるのはなぜか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年を元気に過ごすために食べると思う。</li> <li>・病気をしないためじゃないかな。</li> <li>・一年の始まりを祝うのかな。</li> </ul> <p>3 おせち料理にいろいろな種類がある理由を考え、それぞれに込められた願いを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなおせち料理があるのはそれぞれ願いが込められているからじゃないかな。</li> <li>・家が出てきたおせち料理は</li> </ul>	<p>●事前アンケートで出た「おせちを食べる理由」をもとに、こめられた願いを考えられるようにする。（T1・T2）</p> <p>○児童の予想が一問一答にならないように、全体に投げかけ、深めていく。（T1）</p> <p>●それぞれに込められた願いを紹介し、なぜ多くの種類が詰められているのか考えられるようにする。（T1）</p> <p>○児童がイメージしやすいように、おせち料理の写真をロイロノートに提示</p>	<p>ロイロノート</p>	

	<p>こんな願いがあったのだな。</p> <p><b>見付ける</b></p> <p>4 次の正月に家族で食べたい「うちのおせち」と、おせち料理の名前を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気いっぱいおせち」病気をせずに過ごしたい</li> <li>・「長生きしてねおせち」家族が長生きしてほしい</li> <li>・「よくばりおせち」お金持ちになりたいし、頭もよくなりたい</li> </ul>	<p>する。(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●T1が考えるものを参考にして、活動方法を説明することで、児童がイメージを持って取り組めるようにする。(T1・T2)</li> <li>●自身の家庭を振り返り、込めたい願いを考え、実践してみたいという意欲が持てるように声掛けをする。(T1・T2)</li> </ul> <p>○それぞれの児童が、自分の込めたい願いを、より深く考えられるように机間巡視をする。(T1・T2)</p>	<p>ロイロノート ワークシート</p>	
<p>終末</p>	<p><b>決める</b></p> <p>5 正月に向けて、また、給食におせち料理が登場した際に自分にできる「わたしのおせち大作戦」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に意味を伝えて、願いを考えながら食べる。</li> <li>・レシピを調べて、家族と一緒に作る。</li> <li>・買い物と一緒に行って、おせちに入れるものを探す。</li> <li>・食感や味まで味わって食べる。</li> <li>・おせち料理が出てくる日は、給食カレンダーで意味を確認して食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おせち料理を食べる理由や、「うちのおせち」の作成を行って、考えたこと・学んだことを振り返り、正月までに自分にできることは何かを考えられるようにする。(T1・T2)</li> <li>●全体で意見を出し合い、その後一人学び→ペアワークを行うことで、自身の考えを深め、より具体的な自己決定ができるようにする。(T1・T2)</li> </ul> <p>○自身の家庭の正月事情を踏まえて、自分にできることをより具体的に考えられるように声掛けする。(T1・T2)</p> <p>○家庭状況も考慮して、給食でできることも考えられるようにする。(T2)</p>	<p>ワークシート</p>	<p>◎おせち料理に込められた願いや歴史について考えを深め、これからも伝えていくために自分にできることを考えている。(思)</p> <p>【ワークシート・発表】</p>

## 10 板書計画

### おせち料理を食べる理由を探り、「うちのおせち」を考えよう

なぜおせち料理を食べるの？



- ・病気になる
- ・1年を元気に過ごす
- ・いわう 新年
- ・みんなが楽しく過ごせるように

家族が

みんなが

1年間幸せにすごせますように・・・

うちのおせち

☆元気いっぱいおせち

みんなが病気なくすごしてほしい

☆長生きしてねおせち

家族みんなが長生きしてほしい

☆よくばりおせち

お金と長生きをねがった

おせち大作戦

- ・家族に意味を伝える。  
→ねがいを考えながら食べる。
- ・家族と一緒に作る。  
→レシピを調べる。
- ・味わって食べる。  
→食感、味
- ・意味を確認して食べる。  
→給食カレンダー

## 11 事後の取組

児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
<p>「わたしのおせち大作戦」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お正月の記録 (家)</li> <li>●おせち味わいカード (学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休み前に正月に食べたものを、記録するように声掛けをする。</li> <li>・給食でおせち料理が登場した際には、「おせち味わいカード」に味わった感想や、感じたこと、考えたことを書く。</li> </ul>	<p>・自分で考えたため「わたしのおせち大作戦」を達成しようとしている。 (態)【ワークシート】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だよりを配布して家庭と連携を図ったり、教室におせち料理の本を並べたりして、正月に向けての気持ちを高めていけるようにする。</li> </ul>	

## 12 ICTの活用

- ・事前アンケート
- ・「うちのおせち」の作成

### 13 関連教科

- ・国語科 「世界に誇る和紙」
- ・社会科 「昔から続く京都府の祭り 祇園祭」
- ・家庭科 5年「和食とみそしる」 6年「まかせてね今日の食事」